2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月４日

上場会社名　　日本電技株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　1723　　ＵＲＬ　https://www.nihondengi.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）島田　良介
問合せ先責任者　（役職名）取締役上席執行役員企画管理本部長（氏名）小林　義明　ＴＥＬ　03-5624-1100
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日 2026年12月１日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	19,758	5.8	4,549	9.9	4,846	12.8	3,300	11.2
2026年３月期中間期	18,668	24.6	4,140	78.6	4,297	78.4	2,968	80.3

（注）包括利益　2027年３月期中間期　3,645百万円（△9.1%）　2026年３月期中間期　4,009百万円（130.0%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	51.78	―
2026年３月期中間期	46.59	―

（注）2026年４月１日付で普通株式１株につき４株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり中間純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	60,162	48,926	81.3
2026年３月期	61,099	46,857	76.7

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　48,926百万円　2026年３月期　46,857百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	61.00	―	99.00	160.00
2027年３月期	―	20.00			
2027年３月期（予想）			―	36.00	56.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

１）2026年４月１日付で普通株式１株につき４株の割合で株式分割を行っております。
２）2026年３月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。
３）株式分割を考慮した2026年３月期の１株当たり配当金は第２四半期末15円25銭、期末24円75銭、合計40円00銭であり、16円00銭の増配予想となります。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,500	11.1	12,500	5.7	12,700	4.7	8,700	3.0	136.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規　ー社　（社名）　　、除外　ー社　（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	65,580,000株	2026年３月期	65,580,000株
② 期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,838,418株	2026年３月期	1,847,188株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	63,736,092株	2026年３月期中間期	63,715,943株

（注）

１）期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(J-ESOP)にかかる信託口が保有する当社株式が含まれております。

２）2026年４月１日付で普通株式１株につき４株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業の形態として、工事の完成引渡しが第４四半期連結会計期間に集中し、これに伴う稼働率が高まるため、第１四半期連結会計期間から第３四半期連結会計期間における売上高に比べ、第４四半期連結会計期間の売上高が多くなるといった季節的変動があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
(継続企業の前提に関する注記) …… 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 7
(セグメント情報等の注記) …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

①当中間期の経営成績

当中間連結会計期間における当社グループ業績は、受注高は33,303百万円（前年同期比18.6%増）、売上高につきましては、空調計装関連事業における工場や事務所向けの大型既設物件等の計上を主因に、19,758百万円（同5.8%増）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加及び売上総利益率の改善に伴い営業利益4,549百万円（前年同期比9.9%増）、経常利益は4,846百万円（同12.8%増）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、3,300百万円（同11.2%増）となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業の形態として、工事の完成引渡しが第４四半期連結会計期間に集中し、これに伴う稼働率が高まるため、第１四半期連結会計期間から第３四半期連結会計期間における売上高に比べ、第４四半期連結会計期間の売上高が多くなるといった季節的変動があります。

②事業別の状況

〔空調計装関連事業〕

空調計装関連事業につきましては、受注高は、30,689百万円（前年同期比19.2%増）、売上高は17,403百万円（同4.4%増）、セグメント利益は6,524百万円（同5.6%増）となりました。

受注高につきましては、新設において、研究施設及び工場向け物件等の新設工事が増加し、既設においては、工場及び宿泊施設向け物件等の既設工事が増加しました。内訳は、新設が12,361百万円（同36.2%増）、既設が18,328百万円（同9.9%増）でした。

売上高につきましては、新設において、工場及び医療施設向け物件等の新設工事が反動減となったものの、既設においては、工場及び事務所向け物件等の既設工事が増加しました。内訳は、新設が6,298百万円（同18.8%減）、既設が11,105百万円（同24.7%増）でした。

なお、繰越工事高につきましては、42,707百万円（前年同期比33.6%増）となり、内訳は新設が22,170百万円（同53.9%増）、既設が20,536百万円（同16.9%増）でした。

〔産業システム関連事業〕

主に工場や各種搬送ライン向けの計装工事、各種自動制御工事及び食品工場向けの生産管理システムの構築等を行う産業システム関連事業につきましては、受注高は2,614百万円（前年同期比12.7%増）、売上高は2,354百万円（同17.5%増）、セグメント利益は433百万円（同15.6%増）となりました。

受注高につきましては、生産設備付帯工事及び電気工事等が増加しました。

売上高につきましては、電気工事及びソフトウエア等が増加しました。

なお、繰越工事高につきましては、4,314百万円（前年同期比31.4%増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ936百万円減少し60,162百万円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3,622百万円減少し32,337百万円となりました。これは主に現金預金及び受取手形・完成工事未収入金等の減少によるものであります。また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,685百万円増加し27,824百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,006百万円減少し11,235百万円となりました。これは、主に流動負債における未払法人税等及びその他（流動負債）の減少によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ2,069百万円増加し48,926百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月７日に公表いたしました数値から変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	10,588	9,235
受取手形・完成工事未収入金等	11,259	7,944
電子記録債権	2,868	2,853
有価証券	9,331	8,074
未成工事支出金	756	1,981
その他の棚卸資産	20	40
その他	1,134	2,207
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	35,959	32,337
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,566	2,566
その他（純額）	620	1,551
有形固定資産合計	3,187	4,117
無形固定資産	768	832
投資その他の資産		
投資有価証券	17,685	19,312
その他	3,501	3,564
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	21,183	22,874
固定資産合計	25,139	27,824
資産合計	61,099	60,162

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,288	2,960
未払法人税等	2,633	807
未成工事受入金	1,338	2,848
完成工事補償引当金	24	25
その他	5,877	2,638
流動負債合計	13,162	9,279
固定負債		
退職給付に係る負債	157	155
株式給付引当金	158	187
資産除去債務	85	310
その他	678	1,301
固定負債合計	1,079	1,956
負債合計	14,241	11,235
純資産の部		
株主資本		
資本金	470	470
資本剰余金	502	515
利益剰余金	44,015	45,722
自己株式	△739	△735
株主資本合計	44,248	45,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,608	2,953
その他の包括利益累計額合計	2,608	2,953
純資産合計	46,857	48,926
負債純資産合計	61,099	60,162

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	18,668	19,758
売上原価	10,227	10,554
売上総利益	8,440	9,203
販売費及び一般管理費	4,299	4,653
営業利益	4,140	4,549
営業外収益		
受取利息	53	85
受取配当金	69	103
その他	33	106
営業外収益合計	156	296
経常利益	4,297	4,846
税金等調整前中間純利益	4,297	4,846
法人税、住民税及び事業税	557	733
法人税等調整額	771	812
法人税等合計	1,329	1,546
中間純利益	2,968	3,300
親会社株主に帰属する中間純利益	2,968	3,300

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年９月30日)	当中間連結会計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年９月30日)
中間純利益	2,968	3,300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,041	345
その他の包括利益合計	1,041	345
中間包括利益	4,009	3,645
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,009	3,645

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	空調計装関連事業	産業システム関連事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	3,912	971	4,883	－	4,883
一定の期間にわたり移転される財	12,751	1,032	13,784	－	13,784
顧客との契約から生じる収益	16,664	2,004	18,668	－	18,668
その他の収益	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	16,664	2,004	18,668	－	18,668
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	16,664	2,004	18,668	－	18,668
セグメント利益	6,180	375	6,555	△2,415	4,140

（注）１．セグメント利益の調整額△2,415百万円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	空調計装関連事業	産業システム関連事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	3,883	1,009	4,892	－	4,892
一定の期間にわたり移転される財	13,520	1,345	14,865	－	14,865
顧客との契約から生じる収益	17,403	2,354	19,758	－	19,758
その他の収益	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	17,403	2,354	19,758	－	19,758
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	17,403	2,354	19,758	－	19,758
セグメント利益	6,524	433	6,958	△2,408	4,549

（注）１．セグメント利益の調整額△2,408百万円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメント

に帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)
重要性が乏しいため、記載を省略しております。